

1 研究テーマ

社会的事象を身近な事象と捉えることを目指して
～地域教材を生かした授業づくり～

2 研究内容

- (1) 全ての子どもが社会的事象を「身近」なものと捉え、自分事として主体的に取り組む力を育むため、地域素材の“もの・ひと・こと”をどのように生かしていけばいいのか、素材研究を含めて研究する。
- (2) 教材研究と併せて、地域素材を用いたことが、子どもたちの学びとどう結びついたのかについて、実際の子どもの姿から考察していき、年度末には研究の成果をまとめ、委員会内だけでなく会員の先生方に共有していく。
- (3) 上小社会科教育研究会とタイアップし、より専門的な視点で地域教材の発掘を行うなど研究テーマに迫れるようにしていく。

3 予定

- (1) 5月 1日 会館
- (2) 6月16日(火) 16:20～ 北小学校
「地域素材を持ち寄り、どう教材化するのか、その視点を学び合う」
- (3) 日時未定 PM 会場は未定
「地域の方と出会い、地域素材に対する思いを調査する」
- (4) 9月2日(水)「上小教育の日」PM 北小学校
内容については未定
- (5・6) 9月上旬から10月上旬にかけて 会場未定
「地域教材を使った授業を見合う」(小学校・中学校)
- (7) 11月24日(火) 会館
「本年度の学習指導委員会についてのまとめ」
- (8) 12月21日(月) 16:10～ meetにて実施